

# 長野市ジビエ加工センターについて

長野市農林部のしか対策課

# 農業振興審議会 説明資料 (いのしか対策課)

## 1 ジビエ加工センターの設置

### <施設整備の目的>

農作物に被害を及ぼす有害鳥獣として捕獲されたイノシシとニホンジカを、これまでのように地下に埋設処理等するだけではなく、新たな長野市の地域資源”ジビエ”として無駄なく有効活用し、農業被害の軽減につなげ、かつ、中山間地域の活性化も図るため、平成31年2月に長野市中条地区にジビエ加工センターを整備しました。

### <施設の概要> (建設経過)

- 平成28年11月 長野市ジビエ振興計画策定
- 平成29年2月 建設地を中条地区市有地に決定
- 平成30年3月 農林水産省がジビエ利用モデル地区に選定
- 平成30年7月 ジビエ加工センター工事着手
- 平成31年2月 ジビエ加工センター竣工 (平成31年3月28日竣工式)

【軽保冷車】  
ジビエ運搬専用開発した軽保冷車



【移動式解体処理車】  
車内で一次処理(皮剥ぎ、内臓抽出)後、ジビエ加工センターに運搬します

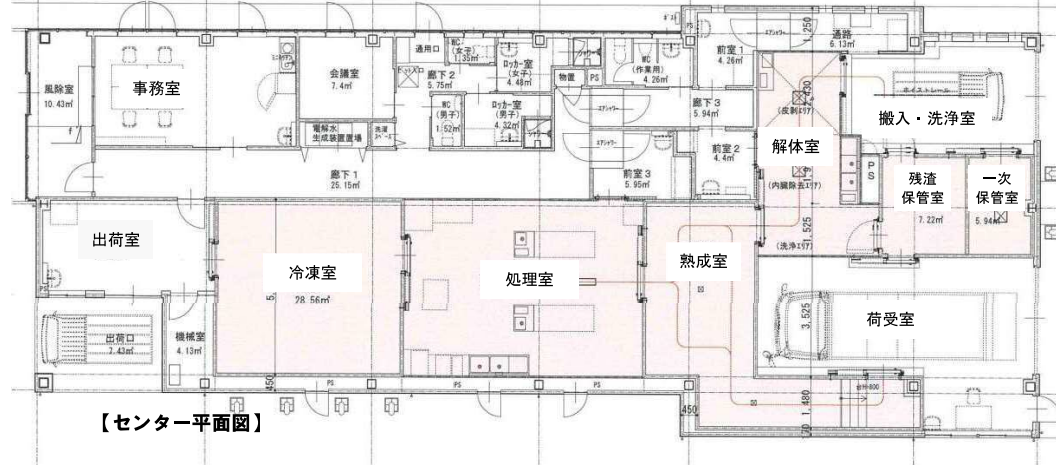


長野市ジビエ加工センター

### (施設運営等)

- 施設の稼働について  
試験稼働：平成31年4月から6月  
(国産ジビエ認証や信州産シカ肉認証の取得)  
本格稼働(販売開始)：平成31年7月から平成32年(2020年)3月  
※主に事業者(飲食店、レストラン、食品加工業者等)向け販売
- 施設運営について  
長野市直営(職員4名)
- (施設の構造等)
- 構造：鉄骨造平屋建(約330㎡)
- 総事業費：約3億5,400万円(内、国交付金：1億2千万円)
- 主な施設設備：解体室、熟成室、処理室、冷凍室

※個体毎に認識番号を付し、トレーサビリティの確保



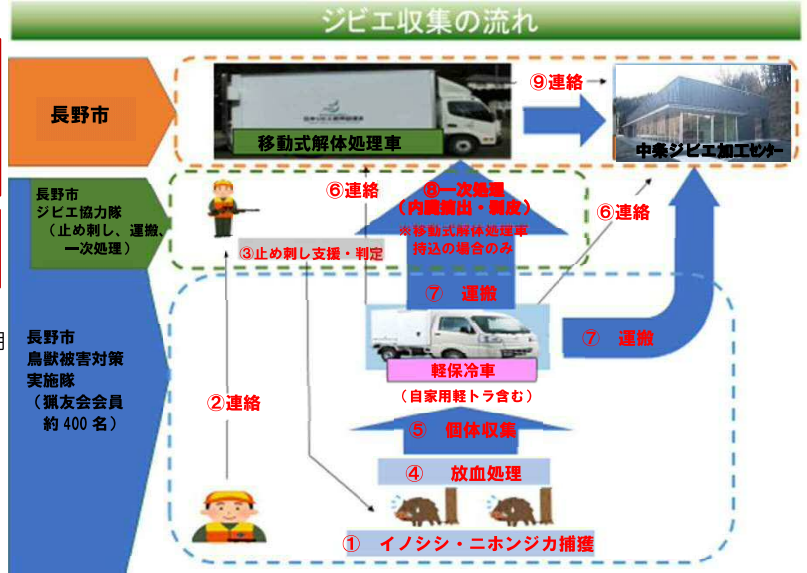
【センター平面図】

### <その他>

■移動式解体処理車(豊野地区1台)や軽保冷車を導入し、市域全域での捕獲に対応します。

## 2 鳥獣被害対策実施隊の任命

- 鳥獣被害防止特措法に基づき、市町村が設置できる
- 市町村が非常勤職員として任命し、被害防止に向けた捕獲等の実践的活動を担う
- 長野市では、ジビエ事業の開始に併せ、猟友会員約400名を任命することで、職務としてより積極的に鳥獣被害対策に取り組んでいただく体制を整備する



(施設住所)  
長野市中条住良木1558番地2

※ 主要地方道長野大町線(オリンピック道路)沿い「道の駅中条」駐車場東側